▼ダラザレックス点滴静注　［注］

【重要度】　【一般製剤名】ダラツムマブ（遺伝子組換え）　Daratumumab（Genetical Recombination）　【分類】多発性骨髄腫治療薬［ヒト型抗 CD38 モノクローナル抗体］
【単位】▼100mg/V［5mL］・▼400mg/V［20mL］
【常用量】
添付文書参照
【用法】点滴静注

投与時関連反応においてジフェンヒドラミンに代わり，レボセチリジンでも有効である（末廣直哉，他: 医療薬学 49: 303-309, 2023）
【透析患者への投与方法】
【保存期 CKD 患者への投与方法】
【特徴】ヒト型免疫グロブリン G1κモノクローナル抗体で，造血器悪性腫瘍の腫瘍細胞表面に発現する CD38 抗原に結合することにより作用する．MM に対する DLd（DRd）療法（ダラザレックス/レナリドミド/デキサメタゾン）の A 法，B 法がある．
【主な副作用・毒性】
【安全性に関する情報】
【F】
【tmax】
【代謝】イムノグロブリンの代謝経路で分解されると推測（1）
【排泄】
【CL】7.14mL/hr（1）
【t1/2】
【蛋白結合率】該当しない（5）
【Vd】71.74±18.14mL/kg（1）
【MW】約 148,000
【透析性】除去されないと思われる（5）
【O/W 係数】
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【備考】間接クームス試験，不規則性抗体測定，免疫電気泳動など，複数の検査項目に影響を与えるため注意（2017 年 SRL）
【更新日】20230925

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。